

CONFIDENTIAL

ANALYSIS REPORT

第9回ダンロップ全日本パデル選手権 アンケート分析レポート

参加者アンケートの結果と
次回大会への改善に向けた示唆

DATE

 2025.12.23

RESPONDENTS

 N = 64

SOURCE

 大会公式アンケートフォーム



PADEL JAPAN



SATISFACTION

平均満足度スコア

2.97 / 4.0

SCORE BREAKDOWN

TARGET: 3.5+

全体的な満足度は「やや満足」に近い水準



DISSATISFACTION

不満足率（課題）

28.1%

↑ 要改善アラート

約3割が「やや不満」または「とても不満」と回答。

運営・情報提供に関する課題が主要因



RETENTION

次回参加意向（前向き）

85.9%

必ず参加したい

37.5%

できれば参加したい

48.4%



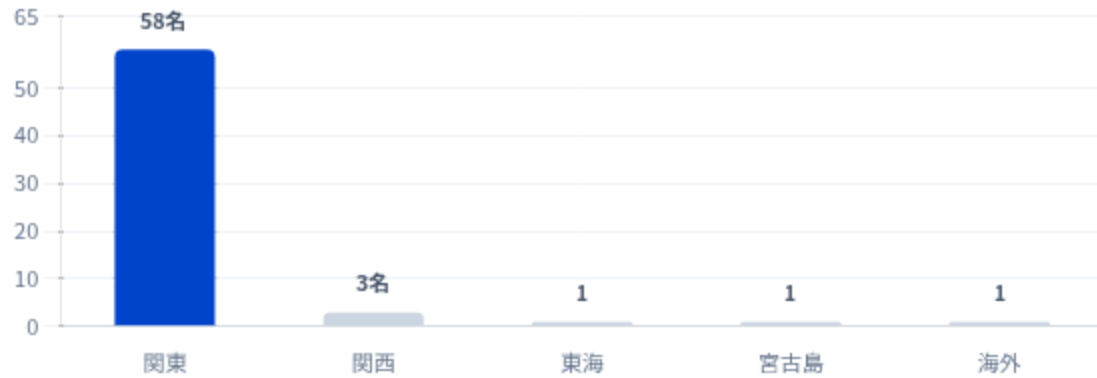
※ 有効回答（N=64）のみを集計。「不満足率」は「やや不満」「とても不満」の合計。「次回参加意向」は「必ず参加したい」「できれば参加したい」の合計。

DATA SOURCE:
FORM_RESPONSE_1

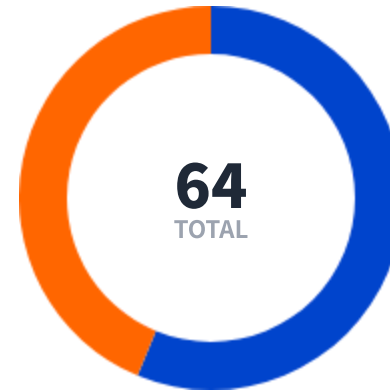


居住地域分布

関東集中: 91%



性別構成比



男子

36

56%



女子

28

44%

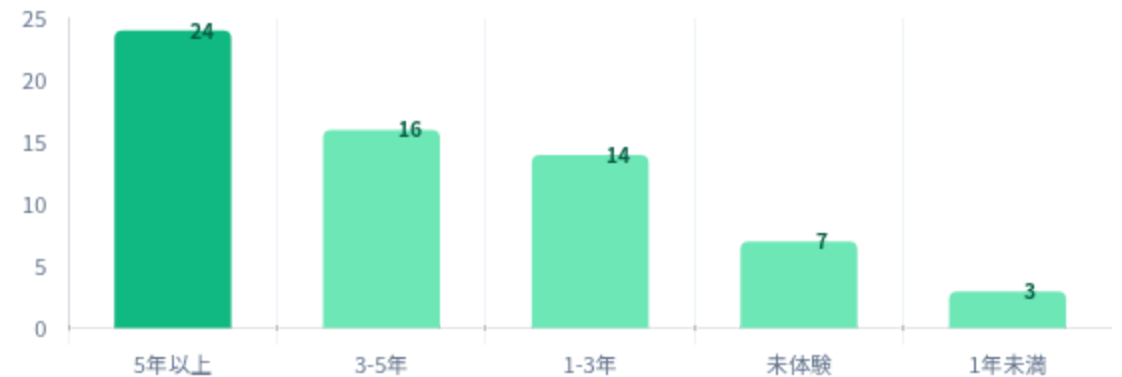


参加・来場理由



パデル競技歴

5年以上: 38%



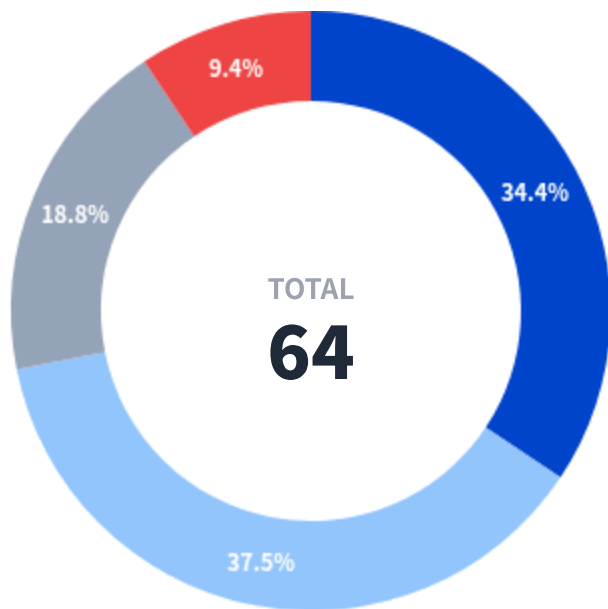


総合満足度と次回参加意向

i 参加意向は極めて高い水準を維持

総合満足度分布

2.97 / 4.0
AVG SCORE



● とても満足

22

● やや満足

24

● やや不満

12

● とても不満

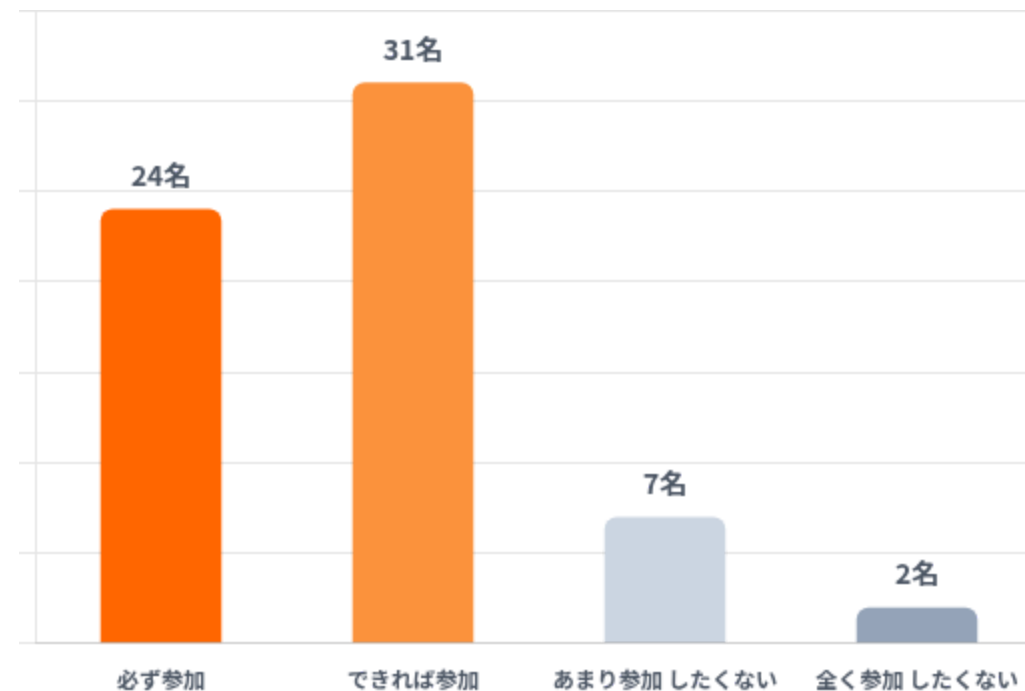
6

次回参加意向

POSITIVE INTENT

「必ず」「できれば」の合計

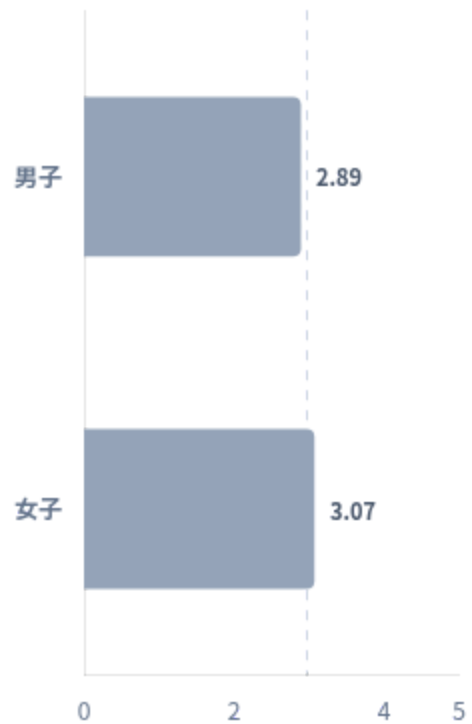
85.9%



※「必ず参加したい」「できれば参加したい」を前向きな回答として集計



性別

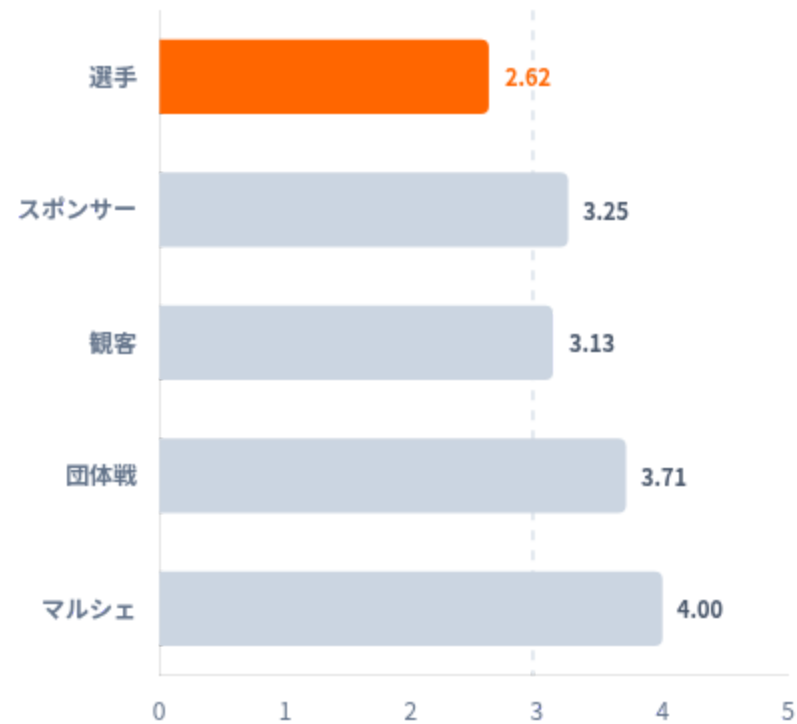


傾向:

男女間で大きな差はないが、女子の方がやや満足度が高い。

参加理由別

選手層の課題

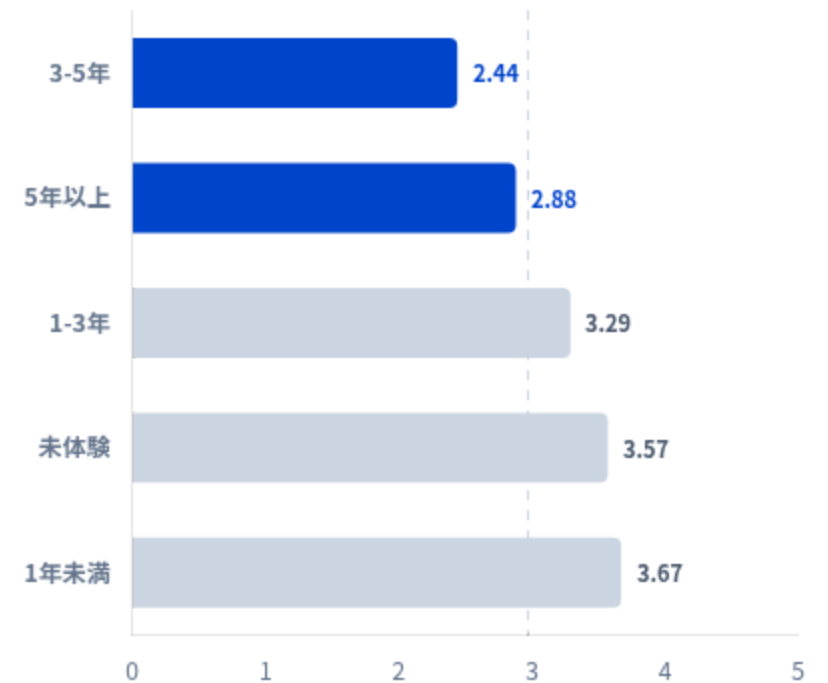


Insight:

「選手」として参加した層の満足度が2.62と最も低く、運営面の課題が競技者に影響を与えている。

競技歴別

コア層の不満



Insight:

競技歴3年以上の「中上級者・コア層」の満足度が平均を大きく下回る。大会への期待値の高さの裏返しとも言える。

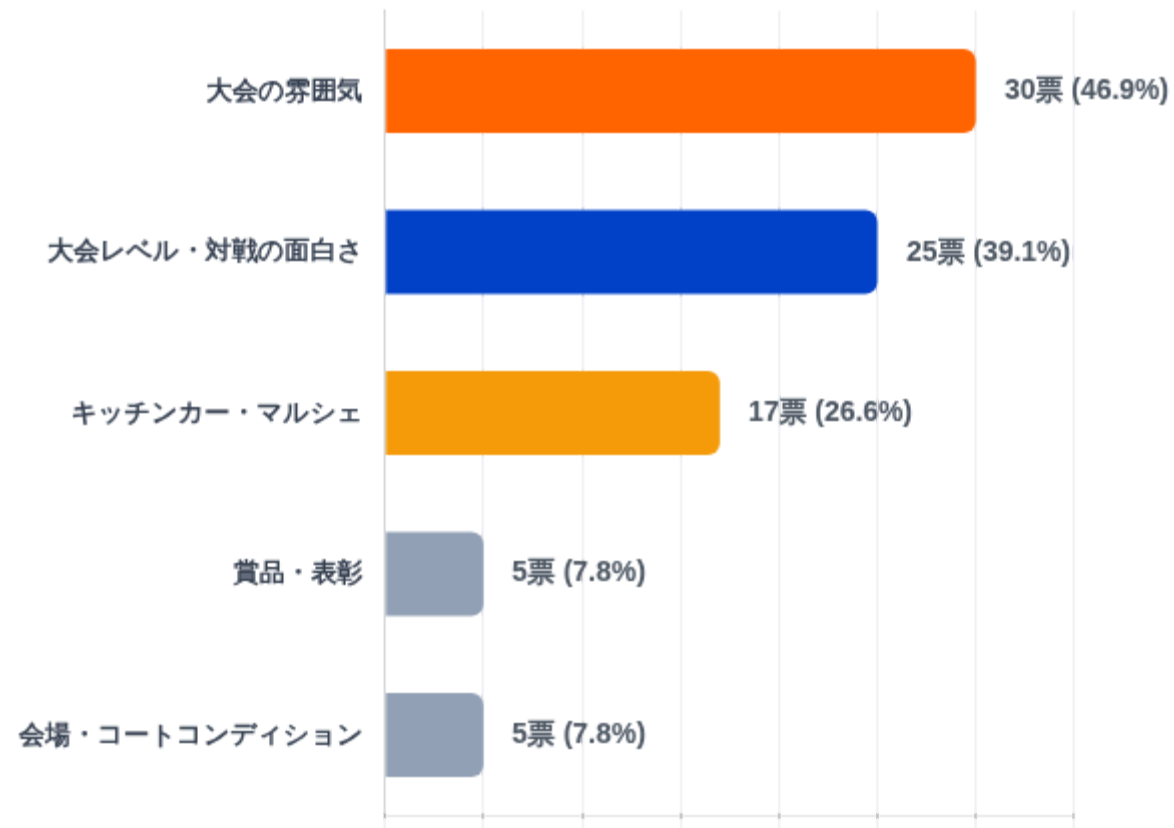


評価された点 (TOP5)

✓ 複数回答可 (N=64)

良かった点ランキング

回答数 (割合)



KEY INSIGHT

「雰囲気」と「競技性」の両輪が高評価

約半数が「大会の雰囲気」を評価し、エンタメ性が支持されています。また、対戦の面白さやレベルの高さも約4割が評価しており、全日本選手権としての質が担保されています。

参加者の声

"全試合放映してくれるなんて、遠征者からはとてもとても嬉しい。関西からの応援もたくさんもらった。"

"準決勝も決勝も良かったです。"

"パデルが日本で流行るために、素晴らしい大会環境を期待しています"

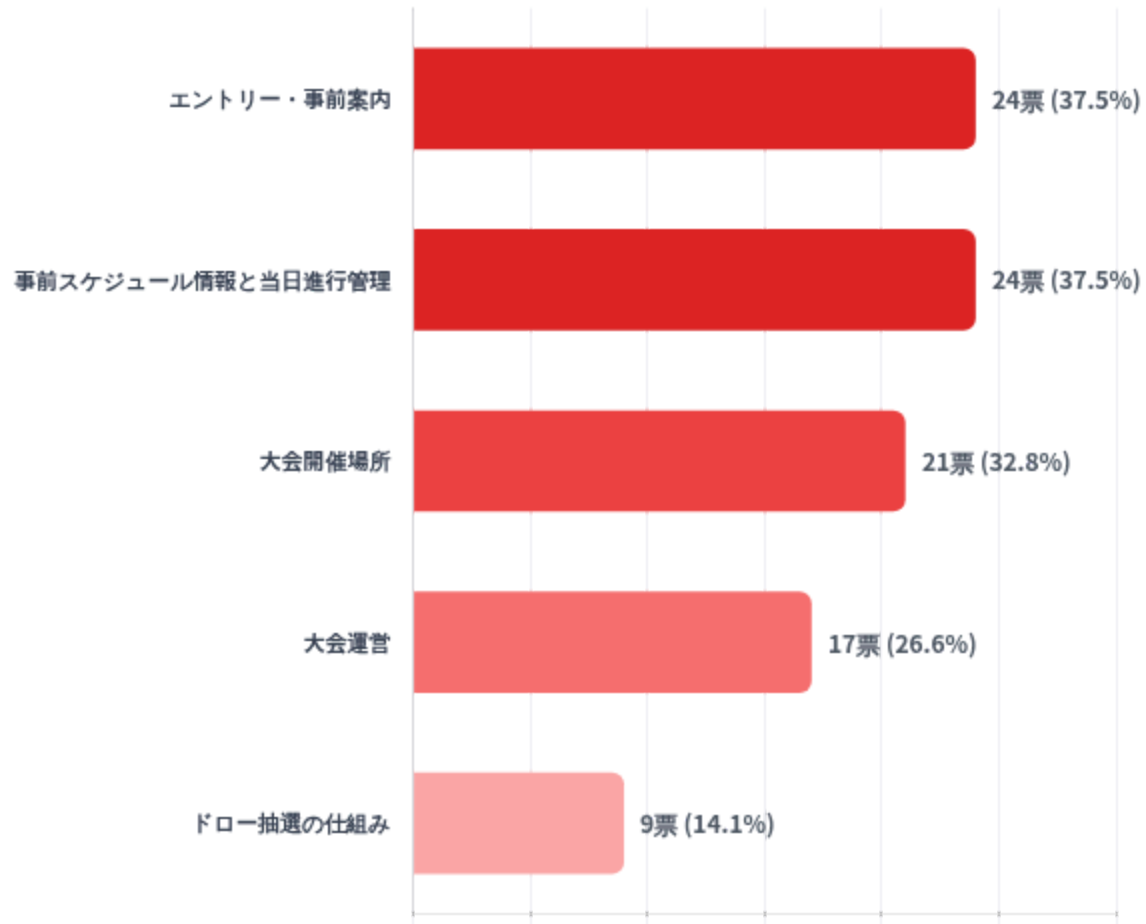


改善要望（TOP5）と参加者の声

複数回答可 (N=64)

改善点ランキング

回答数 (割合)



参加者の具体的な声

アンケート自由記述より抜粋



エントリー・事前案内

「平日開催なのに**1週間前**に**詳細発表**は配慮不足」「**ドロー発表**が遅すぎる」

事前スケジュール情報と当日進行管理

「試合スケジュールの**発表時期**について極めて強い不満」「コート設営遅れやレフェリー不在で**進行が不透明**」

大会運営

「運営準備をもっと**前もって**」「**後手すぎる**対応」

重要課題の優先度整理

PRIORITY SCORING METHOD

優先度スコア = 出現頻度(%) × 重要度ウェイト

● 最優先対応 (Critical)

緊急度: 高 / 重要度: 高



エントリー・事前案内

Score: 75.0

FREQUENCY

24件 (37.5%)



情報の遅さが最大の不満要因。参加可否の早期確定が急務。特に遠征組への配慮が必要。



事前スケジュール情報と当日進行管理

Score: 75.0

FREQUENCY

24件 (37.5%)



事前のドロー・OOP発表遅延と、当日の進行管理・コミュニケーション不足が主要課題。

重要課題 (Important)

緊急度: 中 / 重要度: 高



大会運営体制

Score: 39.8

FREQUENCY

17件 (26.6%)



エントリーリスト公開とドロー手続きの早期化・明確化。競技中の公平性を担保するレフェリー配置とルール周知の徹底。



● 要検討 (Medium)

緊急度: 中 / 重要度: 中



大会開催場所

Score: 32.8

FREQUENCY

21件 (32.8%)



アクセスやコート環境への要望。次回以降の会場選定基準として検討し、事前の環境情報提供を強化。



次回大会への改善検討

 3つの改善領域

CATEGORY 1



事前準備の徹底

エントリー・情報公開

- ✓ **ドロー/OOPの早期公開**
開催1ヶ月前の暫定版公開と、2週間前の確定版配信をルール化。
- ✓ **エントリー確定・FAQ**
選手向けFAQの整備と、エントリーリストの透明性確保。
- ✓ **観戦・会場案内**
駐車場、アクセス情報、副次イベントの情報などを事前に詳細アナウンス。

CATEGORY 2



当日運営の効率化

進行管理・会場運営

- ✓ **リアルタイム進行揭示**
Webサイトおよび会場モニターでの試合進行・遅延状況の可視化。
- ✓ **待ち時間短縮策**
審判・進行スタッフの増員と、次試合待機ルールの厳格化。
- ✓ **会場動線・表示の最適化**
選手/観客エリア分離と立入禁止区域の明確な現地表示。

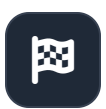
CATEGORY 3



体験価値の向上

イベント・コンテンツ拡充

- ✓ **配信とリザルト速報**
全コート配信体制の安定化と、SNSでの即時結果発信。
- ✓ **体験価値向上施策の継続**
今回好評だった団体戦・マルシェ等の体験施策を次回も組み合わせて展開。



まとめと次のアクション



KEY TAKEAWAYS

1

運営・情報面の課題が浮き彫り

全体満足度は中程度（2.97）だが、28%が不満を表明。特にエントリー案内やスケジュール管理など「情報」に関する不満が集中している。

2

コア層（選手・経験者）の低満足度

観客よりも選手、ビギナーよりも中上級者の満足度が低い傾向。大会の中核を担う層へのケアと運営品質の向上が急務。

3

「場」の価値は高く評価

大会の雰囲気（46.9%）や競技性（39.1%）は強み。このベースを活かしつつ、運営面のストレス要因を取り除くことが改善の鍵。



NEXT ACTIONS (3 MAJOR AREAS)



事前準備の徹底

PREPARATION

ドロー/OOPの早期公開と、エントリー確定・FAQ配信を徹底。
→ 選手からの問い合わせを未然に防ぎ、透明性を確保。



当日運営の効率化

OPERATION

リアルタイム進行掲示、待ち時間短縮、会場動線の最適化。
→ 現場の混乱を防ぎ、競技に集中できる環境を提供。



体験価値向上施策の継続

EXPERIENCE

全コート配信の安定化と、団体戦・マルシェ等の継続実施。
→ 好評施策を組み合わせ、大会全体の満足度を向上。



VISION

選手も観客も、共に熱狂できる「最高の大会」へ。

All Japan Padel Championship
2025